

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 379 事業名 特定感染症（性感染症・肝炎）予防事業（性感染症の抗体検査、肝炎ウイルス検査）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
事項		特定感染症予防事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年		～
関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容					
市民に対して国が策定する「特定感染症予防指針」に基づき、性感染症や肝炎の知識の啓発を図る。また、感染の早期発見・治療のための検査や相談事業を実施し、感染の予防及びまん延の防止を図る。	一般市民を対象に特定感染症予防に関すること（相談・検査・啓発等）を実施 1 性感染症抗体検査・相談（相談は随時実施）。エイズ検査と同時に実施、予約制。保健師/看護師が採血し、医師会へ検査は依頼。陽性時は医療機関への受診勧奨実施。 実施内容 クラミジア・トラコマティス(IgA/IgG)抗体検査、梅毒血清反応検査(RPR法・TPHA法) 2 肝炎ウイルス検査・相談（検査は実施対象者あり。相談は随時実施） ア) 保健所内肝炎ウイルス検査 保健師/看護師が採血し、検査は医師会へ依頼している。結果通知は郵送にて行い、陽性者へは医療機関への受診勧奨を行っている。 実施内容 HBs抗原・HCV抗体検査 実施日時 毎月第1、3曜日の午前9時～午後1時					
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコマティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコマティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコマティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコマティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	3,436	4,791	1,688	2,024	1,756	1,334	1,818		1,818		
	伸び率 (%)	-	-	-50.9%		4.0%		3.5%		0.0%		
	人件費	常勤職員	8,248	6,959	8,248	6,843	8,248	6,886	8,248		8,248	
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	8,248	6,959	8,248	6,843	8,248	6,886	8,248		8,248		
	国庫支出金	758	800	882	790	841	813	822		822		
	県支出金	32	21	32	22	21	30	30		30		
	市債											
その他	14	7	5	0	5	7	5		5			
一般財源(税等)	2,632	3,963	769	1,212	889	484	961		961			
所要人数	常勤職員	1.08	0.91	1.08	0.91	1.08	0.91	1.08		1.08		
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0		0		

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	検査・相談の啓発の種類				年度目標値				
					実績値	3	3	3	
	単位	種類	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	検査相談数				年度目標値	750	750	750	750
					実績値	740	942	727	
	単位	件	全体目標値	750	全体目標達成度	98.7%	125.6%	96.9%	
					年度目標値				
					実績値				
				年度別達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	
		A	

担当課評価の根拠	法定受託事務のため、現状のまま維持継続する。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	